## コーディネーター NEWS

2021年9月号 No.1

発行: Region 1 & 2 & 3 ロータリーコーディネーター ロータリー公共イメージコーディネーター

### コロナ禍での会員維持増強

東京オリンピックは終わりましたが、新型コロナウイルスの感染の猛威は止まりそうにありません。皆さまの クラブはこのコロナ禍でどのように活動されているのでしょうか。

ロータリーの活動を推進するうえで、会員の維持増強が重要なテーマであることは疑いを容れません。今年度のシェカール・メータRI会長は、"Each One, Bring One"のスローガンを掲げ、会員増強を強く呼びかけられていますが、コロナ禍で各地区とも苦戦を強いられているのが現実かと思います。

そのような中、前年度末の6月27、28日に開催された第1第2第3地域合同の「クラブ活性化セミナー」では、会 員維持増強に奮闘している地区・クラブが紹介されました。まずはこれまで会員増強に顕著な実績を挙げ、前年 度もコロナ禍を跳ね飛ばして純増5名を達成した大宮西ロータリークラブ(第2770地区、染谷会員発表)から、 「入会候補者カード」の活用、会長自ら入会候補者を説得する、クラブ内に共通の趣味を持つことなどで集まる 部会制度を設けるというような様々な工夫が紹介されました。続いて最近の「ロータリーの友」でも特集される など、今注目を集めている衛星クラブの実例が二つ紹介されました。一つは「典型的な地方都市」を自認する北 海道の岩見沢ロータリークラブ(第2510地区、西方会員発表)から市内の若い世代に働きかけて衛星クラブを創 立し、自クラブを活性化した経験が発表され、また、全員がROTEX(青少年交換学友)という共通の基盤をもつ 国際性豊かな会員で構成する衛星クラブを創立した東京北ロータリークラブ (第2580地区、浅田会員発表) の発 表がありました。これらの発表を通じ、ロータリークラブにとって衛星クラブとは、単なる会員予備軍の獲得で はなく、ロータリークラブの新たな展開、発展の起爆剤であることを実感しました。さらに、ロータリーの「多 様性」を語るうえで重要なキーワードである女性会員の拡大について、女性会員の比率では低位に属する第2680 地区(梅原会員発表)から、女性の有業率など客観的な統計データから地区特有の状況を分析し、これからは従 来の企業経営者や特別の資格を有する専門職だけではなく、意識が高く、奉仕の精神や思いやりの気持ちを持っ た「女性社会人全般」を視野に入れる必要があるとの発表があり、会員増強の在り方に一石が投じられたように 感じました。

このクラブ活性化セミナーのデータは各地区に配信されています。参加されなかった会員が一人でも多く視聴されることを期待しています。必ずや皆さまのクラブの活性化のヒントを提供することができると確信しています。

第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治(神戸須磨RC)

# -ディネーター 2021年9月号 No.2

発行: Region 1 & 2 & 3 ロータリーコーディネーター ロータリー公共イメージコーディネーター

## 「ロータリー奉仕デー」に参加しよう!地球環境保全プロジェクト(海岸清掃)について

2021-22年度に、シェカール・メータRI会長提唱のもと、国際ロータリーが全世界で実施を計画している「ロータリー奉仕デー」の一環として、Rotary TEAM JAPANは「地球環境保全プロジェクト」を展開します。これは、 世界のロータリアンが同じ日に海岸や河川、湖沼の清掃をロータリーファミリーや他のボランティア団体、地域 住民と共に実施するグローバルイベントです。

「環境」は、国際ロータリーの7番目の重点項目となりました。

そこで国際ロータリー第2820地区は、以前より計画していた海岸線の一斉清掃を9月12日(日)に近隣の地区と 一緒に実施します。この計画を日本全国の地区に広めていく計画で、国際ロータリーもこの計画を推奨しており ます。

この取り組みを、第2820地区のみならず、全国的に拡大する事ができれば、素晴らしい事業になるのではない かと予感しております。

現在日本のロータリーは、課題として、会員増強と公共イメージの向上に取り組んでおります。もちろん、他 にも重要な課題があることは承知しておりますが、個人的には、この2つを重要視しております。

会員拡大には、ロータリークラブ自身の魅力、会員自身の充実感、満足感がなければなりません。また地域社 会の皆さま方からの認知・評価等も重要な要素であると思います。Each One, Bring One は、会員自身にロータ リーに対する評価がなければ、難しいでしょうし、地域社会からの肯定的評価がなければ、これまた困難だと思 います。

ロータリアン自身の意欲を喚起し、地域社会からの良い評価をうけるために、各地区、各クラブはそれぞれ努 力されてきたと思います。しかし、その結果は物足りなさを感じておられるのではないかと思っております。

会員の意欲を高め、地域社会の認知度を高める一つの方法として、「ロータリー奉仕デー」のプロジェクトを 活用してみては、如何でしょうか!

各地区、各クラブの皆さまのご検討、ご理解をお願い申し上げます。

第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑原 征一(新居浜RC)